

# 除染等電離放射線健康診断結果報告書

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

帳票種類 80313	労働保険番号	都道府県 所掌 管轄	基幹番号	枝番号	被一括事業場番号
---------------	--------	------------	------	-----	----------

対象年 □□□ ( 月 ~ 月分) (報告 回目) 7平成←[元号] [年(右7人)]	健診年月日 □□□□□□□□ 7平成←[元号] [年(右7人)] [月(右7人)] [日(右7人)]
---	--

事業の種類	事業場の名称
-------	--------

事業場の所在地	郵便番号 ( )	電話 ( )
---------	----------	--------

健康診断実施機関の名称及び所在地	在籍労働者数	人
------------------	--------	---

従事労働者数	男	女	計	作業の種類 □ → 1 土壌等の除染等 2 除去土壌の収集、運搬又は保管 3 汚染廃棄物の収集、運搬又は保管 4 特定汚染土壌等の取扱い
	人	人	□□□□ 人	
有所見者数 (受診所見の内訳は裏面に記入すること。)	男	女	計	具体的内容 [ ]
	人	人	□□□□ 人	

受診労働者数	実効線量による区分	男		女		計
		人	人	人	人	
1	5ミリシーベルト以下の者	男	人	女	人	計 □□□□ 人
		計	□□□□		人	
2	5ミリシーベルトを超え20ミリシーベルト以下の者	男	人	女	人	計 □□□□ 人
		計	□□□□		人	
3	20ミリシーベルトを超え50ミリシーベルト以下の者	男	人	女	人	計 □□□□ 人
		計	□□□□		人	
4	50ミリシーベルトを超える者	男	人	女	人	計 □□□□ 人
		計	□□□□		人	

ページ / 総ページ  
□ / □

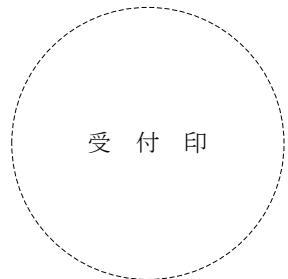
産業医	氏名	印
	所属医療機関の名称及び所在地	

年 月 日

事業者職氏名

労働基準監督署長 殿

印



受診所見の内訳

項 目		実施者数	有所見者数
白血球数	男	人	人
	女	人	人
白血球百分率	男	人	人
	女	人	人
赤血球数	男	人	人
	女	人	人
血色素量	男	人	人
	女	人	人

項 目		実施者数	有所見者数
ヘマトクリット値	男	人	人
	女	人	人
眼	男	人	人
	女	人	人
皮膚	男	人	人
	女	人	人

備 考

- 1 □□□で表示された枠（以下「記入枠」という。）に記入する文字は、光学的文字読取装置（OCR）で直接読み取りを行うので、この用紙は汚したり、穴をあけたり、必要以上に折り曲げたりしないこと。
- 2 記載すべき事項のない欄又は記入枠は、空欄のままとすること。
- 3 記入枠の部分は、必ず黒のボールペンを使用し、様式右上に記載された「標準字体」にならつて、枠からはみ出さないように大きめのアラビア数字で明瞭に記載すること。
- 4 「対象年」の欄は、報告対象とした健康診断の実施年を記入すること。
- 5 1年を通し順次健診を実施して、一定期間をまとめて報告する場合は、「対象年」の欄の（月～月分）にその期間を記入すること。また、この場合の健診年月日は報告日に最も近い健診年月日を記入すること。
- 6 「対象年」の欄の（報告 回目）は、当該年の何回目の報告かを記入すること。
- 7 「事業の種類」の欄は、日本標準産業分類の中分類によって記入すること。
- 8 「健康診断実施機関の名称及び所在地」の欄は、健康診断を実施した機関が2以上あるときは、その各々について記入すること。
- 9 「在籍労働者数」、「従事労働者数」及び「受診労働者数」の欄は、健診年月日現在の人数を記入すること。なお、この場合、「在籍労働者数」は常時使用する労働者数を、「従事労働者数」は除染等業務に常時従事する労働者数をそれぞれ記入すること。
- 10 「有所見者数」の欄は、各健康診断項目の有所見者の合計ではなく、健康診断項目のいずれかが有所見であった者の人数を記入すること。
- 11 「作業の種類」の欄は、同欄に掲げる1～4の作業の区分に応じた数字を記入し、（ ）内には具体的な作業内容を記入すること。
- 12 線量による区分は、今回の健康診断を行った日の属する年の前年一年間に受けた線量によって行うこと。
- 13 「産業医の氏名」の欄及び「事業者職氏名」の欄は、氏名を記入し、押印することに代えて署名することができること。